

先生と一問一答

◆行ってみたい場所／ヨーロッパ。特にイタリアに興味があります
 ◆好きな食べ物／焼肉 ◆好きな動物／犬 ◆好きな音楽／クラシックとジャズ ◆休日の過ごし方／のんびりと過ごしています ◆この街の好きなところ／生まれ育った街です。最近、再び活気を取り戻したので嬉しいです
 ◆ストレス解消法／睡眠と鼻呼吸 ◆宝物／患者さんとスタッフ、そして家族です ◆今後の夢／患者さんも自分も満足できる、そんな仕事を続けていきたいです



(上)イセザキ・モールから一本入ったところにある同院。関内駅から徒歩5分。
 (下)白を基調とした診療室は、とても落ち着いた雰囲気。フランス画家の額絵がアクセントになっている。

真摯な態度で患者さんと向き合い 対話を重ねながら最適な義歯を提供

院長

矢崎 久雄先生

【やざき・ひさお】神奈川県出身、O型、みずがめ座。日本大学歯学部卒。生まれも育ちも横浜で、先代院長であるお父様が昭和37年に開業した矢崎歯科医院を継承し、同院院長に就任。以来、30年以上にわたって義歯や被せ物の診療に注力している。趣味は音楽鑑賞で、クラシックや60年代モダンジャズを聴くことが多いそう。◆日本歯科医師会



TOPICS

素材も機能も進化を遂げた ノンクラスデンチャー

◆近年、義歯にも様々なタイプのものが登場。同院でも提供する「ノンクラスデンチャー」は、表面からみても、それが義歯であることがわかりづらいのだという。◆審美的な要素だけでなく、歯肉と接する部分の素材の改善が進み、絶妙な弾力性に

よってフィット感も向上。違和感も少なくなっているのだとか。保険外にはなるが、おすすめだという。



長年にわたって専門性を追求し、機能性と審美性に優れた義歯を提供し続ける矢崎先生。患者さんとの親密なコミュニケーションを重視しているという。

父の代から数えて55年間、義歯の治療を中心に取り組んできました。横浜だけでなく、遠方からも義歯の悩みを抱えた患者さんが来院されます。義歯というものは、診察をして型さえとってしまえば、すぐに完成して噛めるというものではありません。完成までに数回、さらにそれを馴染ませ、機能させていく期間も必要です。できるかぎり、ご自身の歯の感覚に近づけていくためには、患者さんと二人三脚で進めていく必要があります。

そのため、コミュニケーションを重視し、今日はどんな治療を実施したか、次回はどのような処置を行うのかを懇切丁寧に説明し理解を求めます。特に初診

時には、一時間の枠を設定し、患者さんのご希望をじっくりお聞きします。気にされるのは「噛み合わせなのか」「審美的な要素なのか」目指すゴールが違っていると、患者さんにご満足いただけないので、常に同じ目線で診療を進めるよう心がけています。

患者さんがお話ししやすくなるように、リラックスできる空間づくりに努めています。白を基調とした院内に、心地よいアロマをご用意し、季節に合わせたDVDを放映。患者さんからご好評をいただいています。

義歯を製作した後のメンテナンスも重要であると考えています。義歯そのもののクリーニングだけでなく、残っている歯の健康を保つことで、義歯の安定を図ることができます。患者さんとはとても長いおつきあいになるので、信頼関係を結ぶことが大切ですね。

矢崎歯科医院

☎045-261-2530

横浜市中区吉田町2-5